



NFB アニメーション・スタジオに大いに貢献したノーマン・マクラレンは、“アニメーション史における世界で最も影響力のある作家”として、1933年～85年までの作品(82本の映画、53本の実験映像)が、2009年7月31日にユネスコの世界の記憶に登録されました。

写真は『Opening Speech: McLaren』のマクラレン  
© National Film Board of Canada

平成 21 年文化庁委託事業  
「日本とカナダのプロデュース力」を考える日加国際交流事業  
国際シンポジウムおよび NFB プロデューサー・ティーチイン  
～カナダ国立映画制作庁創立 70 周年記念～

**カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)  
東京、横浜、京都で  
NFB(カナダ国立映画制作庁)創立 70 周年  
記念イベント開催決定**

<http://www.caf10.net>

アニメーション先進地・カナダから  
オスカー®受賞プロデューサー来日。  
“NFBのプロデュース力”が明かされる。

- 主催： カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局  
東京藝術大学大学院映像研究科(NFBプロデューサー・ティーチイン主催)
- 共催： カナダ国立映画制作庁  
カナダ大使館  
横浜市開港150周年・創造都市事業本部(NFBプロデューサー・ティーチイン共催)  
京都国際マンガミュージアム
- 協力： トリウッド  
コ・フェスタ2009パートナーイベント  
BankART1929(NFBプロデューサー・ティーチイン協力)  
KYOTO CMEX 2009 / CGアニカップ 日・仏親善試合
- 協賛： コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社  
ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン  
東京国際アニメフェア2010

CAFだけでない・・・

**DVD、劇場、イベント、放送にNFBが登場！**

本リリースの7～9ページに、  
エンタテインメント各社が、この秋に予定するNFB関連情報を紹介  
しています。

## 日本国内3カ所で、カナダ国立映画制作庁(NFB)の創立70周年を記念するイベント開催

カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)は、カナダで活躍する世界の著名監督やカナダの新進作家の短編アニメーションを2002年から毎年紹介してきました。10回目となる今回は、創立70周年を迎えたカナダ国立映画制作庁(NFB)の名作および最新作30本を特集します。

そして、今年のCAFは、平成21年度文化庁委託事業(平成21年度海外との共同創作活動を通じた国際文化交流事業)として、「日本とカナダのプロデュース力」を考える日本・カナダ国際交流事業を開催します。

数々の名作を生み出してきたNFBのプロデューサー マーシー・ページ氏と元マーケティングエージェント エレーヌ・タンゲ氏をカナダから招き、JAPAN国際コンテンツフェスティバル(愛称コ・フェスタ)2009パートナーイベントとして、東京、横浜、そして京都で記念イベントをおこないます。

NFBプロデューサー・ティーチイン 「プロデュース力とは」NFBの企画開発力と国際共同制作力

< 東京藝術大学大学院映像研究科 公開講座 馬車道エッジズ >

2009年9月21日(月・祝)、東京藝術大学 横浜校地 馬車道校舎(横浜)

国際シンポジウム「日本とカナダのプロデュース力」

2009年9月24日(木)、カナダ大使館 オスカー・ピーターソンシアター(東京)

カナダ・アニメーション・フェスティバル in 京都 (CAF in 京都)

2009年9月25日(金)～27日(日)、京都国際マンガミュージアム(京都)

## カナダ国立映画制作庁(NFB / National Film Board of Canada)について

1939年に創立したカナダ国立映画制作庁(NFB、<http://onf-nfb.gc.ca/>)は、世界でも珍しい国立のドキュメンタリー映画とアニメーションの制作・配給機関として70周年を迎えました。1941年に、イギリスから招かれた映像作家ノーマン・マクラレンが興したアニメーション・スタジオは、優秀なプロデューサーや技術スタッフ、最先端の制作設備を整え、カナダのみならず世界中の作家・監督の憧れの的となりました。各国から「NFBでアニメーションを創りたい」と優秀な才能を呼び寄せ、アニメーション史を飾る名作を数々残しました。NFBが制作あるいは制作参加した作品は、無数の国際賞に輝き、アカデミー®賞短編アニメーション賞だけでも7回受賞し、ドキュメンタリー賞や特別賞を含めると13回もオスカー®が贈られました。近年のNFBは、インディペンデント(独立系作家・スタジオ)の制作支援や国内外との共同制作、そして配給や普及に力を注いでいます。さらにこれまでに制作された1万本以上のアーカイブが、NFBそしてカナダ国民に物心両面の豊かさをもたらしています。

NFBが支援するのは商業ベースのものばかりではありませんが、その門をくぐったことをきっかけに、プロとして成功する作家・監督が数多くいるのです。

いつの日かNFBで制作できることを夢見ていた。

僕にとってNFBは、ハリウッド、アニメーションの聖地。

山村浩二(アニメーション作家)

## NFBのプロデュース力

日本では、国際デビューを果たせても、その後のフォローを受けられない若手は独力で種々の交渉や手続きをせねばなりません。そのために機会を逸することもあります。一方カナダには、制作から配給に至る民官の支援があります。“アニメーションの拠点”であるNFBも、その一つです。

CAFでは、NFBを代表する作品の上映と、プロデューサーとマーケッターを招いたイベントで、NFBの“プロデュース力”を複合的に紹介します。カナダは官民挙げて国際共同制作を推進しており、NFBはそのための重要な機関です。このようなNFBの活動を知ることは、日本の創作における新たな一面を拓くことでしょう。

## NFB から特別ゲストを迎え、 カナダと日本のプロデュース力を考える、2009 年のカナダ・アニメーション・フェスティバル

### 特別ゲスト

マーシー・ページ (Marcy Page)

NFB プロデューサー / オスカー®受賞作の『ライオン』(クリス・ランドレス監督)や『デンマークの詩人』(トールル・コーヴェ監督)など数多くの作品を手がけ、これまでに 200 以上の国際賞に輝く。オランダ出身のポール・ドリエッセン監督などとの国際共同制作、カナダのジャネット・パールマン、ジョン・ウェルドン、クリストファー・ヒントン、ゲール・トーマス、シェルドン・コーエン、マンロ・ファーガソン監督らとアニメーション史に残る作品を制作してきた、敏腕プロデューサー。



エレヌ・タンゲ (Hélène Tanguay)

元 NFB マーケティングエージェント / 国際アニメーション映画協会元カナダ代表。NFB で映画祭担当とマーケティング担当を歴任。作家、プロデューサー、映画祭運営者と幅広い人脈を持ち、世界のアニメーション状況に最も詳しいマーケッターの一人。37 年の NFB 在任中に 140 本以上のアニメーション制作に携わり、07 年に定年退職。現在はフリーで活躍している。



### NFB プロデューサー・ティーチン 「プロデュース力とは」NFB の企画開発力と国際共同制作力 ＜東京藝術大学大学院映像研究科 公開講座 馬車道エッジズ＞



世界の映画祭で燦然と輝き、数多の名作家たちを輩出する NFB。その創造的パワーの源はどこにあるのか！？

NFB で数々の制作経験を持つ、マーシー・ページ氏とエレヌ・タンゲ氏が、オスカー®受賞作の『ライオン』(クリス・ランドレス監督)や『デンマークの詩人』(トールル・コーヴェ監督)などの豊富な事例を交えて、NFB の企画開発と国際共同制作を詳細に語ります。

出演： マーシー・ページ(NFB プロデューサー)、エレヌ・タンゲ(元 NFB マーケティングエージェント)、  
岡本美津子(東京藝術大学大学院映像研究科教授)

開催日時：9月21日(月・祝) 公開講座 午後2時～、懇親会あり(会費制)

会場： 東京藝術大学 横浜校地 馬車道校舎(神奈川県横浜市中区本町4-44)

講座 参加無料・事前申込制 (懇親会は会費制)

主催：カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局、東京藝術大学大学院映像研究科

共催：カナダ国立映画制作庁、カナダ大使館、横浜市開港150周年・創造都市事業本

詳細およびお申し込みは「馬車道エッジズ」ホームページへ <http://animation.geidai.ac.jp/pd2009/>

## 国際シンポジウム「日本とカナダのプロデュース力」



カナダのゲストと日本のエキスパートおよび若手作家と共に、NFBのプロデュース力と、日本アニメーションの豊かな才能の国際展開を考えるシンポジウムです。

出演： マーシー・ページ(NFB プロデューサー)、エレーヌ・タンゲ(元 NFB マーケティングエージェント)

内容と日本のゲスト:

パート1 オープニングスピーチ / 山村浩二(アニメーション作家)

ゲストスピーチ / カナダのゲストによる NFB の企画開発の紹介

パート2 基調報告「日本の国際共同制作の環境」 / 西村隆(財団法人日本映像国際振興協会事務局長)

座談会「アニメーションの国際共同制作」 / 塩田周三((株)ポリゴン・ピクチャーズ代表取締役 / CEO エグゼクティブプロデューサー)

パート3 座談会「日本の若手アニメーション作家の可能性」 / 青木純((株)スペースネコカンパニー代表取締役)、(株)TANGE FILMS 森下征治(プロデューサー)および丹羽直樹(アートディレクター)

開催日時: 9月24日(木) シンポジウム 午後2時~7時、懇親会 午後7時~

会場: カナダ大使館 オスカー・ピーターソンシアター(東京都港区赤坂7-3-38)

主催: カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局

共催: カナダ国立映画制作庁、カナダ大使館

シンポジウム、懇親会: 事前申込・招待制

## カナダ・アニメーション・フェスティバル in 京都 (CAF in 京都)



CAFと京都国際マンガミュージアムの共同開催で、Kyoto Cross Media Experience (Kyoto CMEX)の一環として、NFB作品の特集上映やトークショー「70年続くアニメーション拠点・カナダ国立映画制作庁の魅力」をおこないます。

開催日時: 9月25日(金)~27日(日)

会場: 京都国際マンガミュージアム 多目的映像ホール(京都府京都市中京区烏丸通御池上ル)

**NFB アニメーション特集上映** / 9月25日(金)~27日(日)

アカデミー®賞受賞作家から新進作家まで、NFBの名作&最新作30本を一挙上映します。(第10回 カナダ・アニメーション・フェスティバル@トリウッドと同一プログラムになります)

Program A マーケッター タンゲ セレクション (67分)

NFBのマーケティング担当として、37年間アートアニメーションを見続けたエレーヌ・タンゲ。“世界で最も詳しい一人”が選んだ特集。

Program B NFB 最新作品集 vol.1 (49分)

アカデミー®賞のランドレス監督、マクラレンの後継者の一人サザランド監督らの新作登場。カナダ・アニメーションの新局面が明かされる。

Program C NFB 最新作品集 vol.2 (51分)

アヌシー2009 審査員特別賞『大暴走列車』初公開。名匠シュヴィツゲベル監督から、有望な若手まで、多彩なラインアップ。

Program D ベストオブCAF by トリウッド (62分)

過去9回のCAF上映作品から厳選した特集。アカデミー賞®初ノミネートのCG作品、パテル監督の問題作、名作童話のアニメーションなど。

Program E 休日プログラム 子どもと楽しむアニメーション (50分)

子供が見て楽しめる作品のプログラム。技法は、手描きアニメーションから、切り紙、人形、ビーズを使った名人技まで、土日祝日のみの特選集。

**トークショー** / 9月26日(土) 午後2時~3時半

70年続くアニメーション拠点・カナダ国立映画制作庁の魅力

エレーヌ・タンゲ氏とアニメーション作家 米正万也氏ほかとのトークショーで、カナダのアニメーション制作や、日

本とカナダの短編アニメーションの魅力をお話します。

出演: エレーヌ・タンゲ(元 NFB マーケティングエージェント)、米正万也(アニメーション作家)、應矢泰紀(京都国際マンガミュージアム研究員)

主催: カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局、京都国際マンガミュージアム

共催: カナダ国立映画制作庁、カナダ大使館

詳細は「京都国際マンガミュージアム」ホームページへ <http://www.kyotomm.jp>

## 第10回 カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)@トリウッド

作家の告白にも似た短編アニメーションの世界。

CAFに足を運んだ時、人見知りな僕はドキドキした。

近藤 研二 (音楽家 / 「つみきのいえ」音楽)

下北沢トリウッドで2002年から続く、カナダ・アニメーション特集上映は、10回目となります。

カナダ国立映画制作庁創立70周年と日加修好80周年とも重なる記念開催にふさわしく、マクラレン、ホードマン、パテル、アカデミー賞受賞作家から新進作家まで、名作&最新作30本を一挙上映します。

開催日: 2009年9月19日(土)~10月16日(金) 火曜日定休 但し、9/22(火)は祝日の為、上映あり。

会場: 下北沢トリウッド <http://homepage1.nifty.com/tollywood/>

上映作品: 30本、5つのプログラム

### Program A マーケッター タンゲ セレクション (67分)

NFBのマーケティング担当として、37年間アートアニメーションを見続けたエレーヌ・タンゲ。「世界で最も詳しい一人」が選んだ特集。

線と色の即興詩 (55年/ノーマン・マクラレン)、風 (72年/ロン・チュニス)

がちょうと結婚したふくろう (74年/キャロライン・リーフ)

心象風景 (76年/ジャック・ドゥルルーアン)

エブリ・チャイルド (79年/ユージン・フェドレンコ)

練習開始! (79年/リチャード・コンディ)、スーフィーの物語 (80年/ゲイル・トーマス)

ある一日のはじまり (99年/W.ティルビー、A.フォービス)



A プログラム 「ある一日のはじまり」  
W.ティルビー A.フォービス  
© National Film Board of Canada

### Program B NFB 最新作品集 vol.1 (49分)

アカデミー®賞のランドレス監督、マクラレンの後継者の一人サザランド監督らの新作登場。カナダ・アニメーションの新局面が明かされる。

ばかばかしい! (フィードゥル・ディー・ディー) (47年/ノーマン・マクラレン)

めんどり母さん (06年/タリ)、フォーミングゲーム (08年/マルコム・サザランド)

ハングウ - アフリカの調べ (08年/ニコラ・プロー)

にわか雨で (09年/ダヴィド・コッカーダッソー)

劇作家ジョン・マレル (09年/カム・クリスチャンセン)、背骨 (09年/クリス・ランドレス)



B プログラム 「背骨」  
クリス・ランドレス  
© National Film Board of Canada

### Program C NFB 最新作品集 vol.2 (51分)

アヌシー2009 審査員特別賞『大暴走列車』初公開。名匠シュヴィツゲベル監督から、有望な若手まで、多彩なラインアップ。

ラブ・オン・ザ・ウィング (38年/ノーマン・マクラレン)

トットゥリ・ブトゥリ夫人の旅 (07年/C.ラヴィス、M.シェバウスキ)

リタッチ (08年/ジョルジュ・シュヴィツゲベル)

ネクタイ (08年/ジャンフランソワ・レヴェスク)、大暴走列車 (09年/コーデル・バーカー)



C プログラム 「大暴走列車」  
コーデル・バーカー  
© National Film Board of Canada

**Program D ベストオブCAF by トリウッド (62分)**

過去9回のCAF上映作品から厳選した特集。アカデミー賞®初ノミネートのCG作品、パテル監督の問題作、名作童話のアニメーションなど。

**カノン** (64年/ノーマン・マクラレン、グラント・マンロ)、**餓鬼** (74年/ピーター・フォルデス)  
**最優先事項** (81年/イシュ・パテル)、**ゆきのねこ** (98年/シェルドン・コーエン)  
**ストレンジ・インベーターズ** (01年/コーデル・パーカー)

**Program E 休日プログラム 子どもと楽しむアニメーション (50分)**

子供が見て楽しめる作品のプログラム。技法は、手描きアニメーションから、切り紙、人形、ビーズを使った名人技まで、土日祝日のみの特選集。

**つぐみ - 小鳥のファンタジー** (58年/ノーマン・マクラレン)  
**ビーズ・ゲーム** (77年/イシュ・パテル)  
**シンデレラ・ペンギンの優しい物語** (81年/ジャネット・パールマン)  
**カッコウのエドガーさん** (99年/ピエール・ツラドウ)  
**マリアンヌの人形劇** (04年/コ・ホードマン)

料金、タイムテーブルなどの詳細は「トリウッド」ホームページへ

<http://homepage1.nifty.com/tollywood/>



D プログラム  
「ストレンジ・インベーターズ」  
コーデル・パーカー  
© National Film Board of Canada



E プログラム  
「シンデレラ・ペンギンの優しい物語」  
ジャネット・パールマン  
© National Film Board of Canada

**トークイベント@トリウッド!! -----**

**オスカー®受賞プロデューサーらのトークイベント決定!**

開催日時: 9月20日(日) 17:10回終了後

ゲスト: マーシー・ページ(NFBプロデューサー)、エレヌ・タンゲ(元NFBマーケティングエージェント)

詳細は CAF ホームページへ <http://www.caf10.net>

\* イベントの日時、出演者などは予告なしに変更されることがあります。

< お問い合わせ先 >

**カナダ・アニメーション・フェスティバル事務局 連絡先**

プレス担当

代表: 伊藤

電話: 090-8506-4135

Email: [hito@aurora.dti.ne.jp](mailto:hito@aurora.dti.ne.jp) (プレス対応メール。一般問い合わせアドレスではありません)

URL <http://www.caf10.net>

< お問い合わせ先 >

**上映、カナダ・アニメーション・フェスティバル(CAF)@トリウッドに関するお問合せ**

トリウッド 担当: 大川

TEL 03-3414-0433

FAX 03-3414-0463

Email: [tollywood@nifty.com](mailto:tollywood@nifty.com)

URL <http://homepage1.nifty.com/tollywood/>

## 2009年はNFB

カナダでは2009年を通じて、NFB(カナダ国立映画制作庁)の創立70周年を祝うイベントが数々開催されています。日本でも、2009年の秋、DVD出版、劇場公開、イベント、そしてテレビ放映と、NFBがエンタテインメント各社から続々と登場します。

色と音と動きの奇跡 映像の魔術師の宇宙に溺れる  
**DVD-BOX「ノーマン・マクラレン マスターズ・エディション」**  
**DVD「ノーマン・マクラレン 傑作選」**  
 発売元:ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント

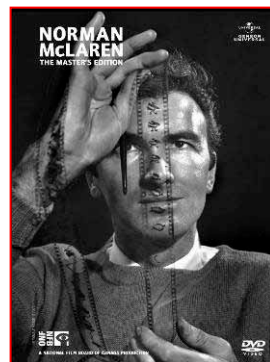
2006年カンヌ国際映画祭は、初めて、アニメーション作家の回顧展を開催した。それがノーマン・マクラレンだった。

カメラレスアニメーション、ピクシレーション、手描きのサウンドトラックなど、多様な技法を用いてアニメーション表現の無限の可能性を追求し、現在も、映画やCMなどで活躍する映像作家たちに多大な影響を与えるマクラレン。そのほぼ全作品と収録時間約576分に及ぶ膨大な資料映像を収録したディスク5枚組「DVD-BOX ノーマン・マクラレン マスターズ・エディション」(税込24,150円)と、代表作13編を集めた「ノーマン・マクラレン 傑作選」(税込3,990円)が、8月5日にジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントから発売された。

問い合わせ先:

ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント 制作本部クロスメディアグループ 井出  
 電話:03-5721-6993

URL:<http://www.geneon-ent.co.jp/anime/NAA/contents/hp0027/index00270000.html>



**『ライアン・ラーキン 路上に咲いたアニメーション』**  
**ライアン・ラーキン作品 & 『ライアン』特集上映**  
**2009年秋、ライズXほか全国ロードショー!**  
 配給:トランスフォーマー+トルネード・フィルム



アニメ界のフランク・ザッパと讃えられ、突然路上に消えた1人のアーティスト **ライアン・ラーキン**

1965年から72年にかけて、たった4本の短編作品を残し、2007年にこの世を去った伝説のアニメーション作家、ライアン・ラーキン。25歳にしてアカデミー賞短編アニメーション部門にノミネートされるなど、その名を世界に轟かせた彼だったが、若すぎた成功とプレッシャーに追い詰められ、やがて栄光を捨て道行く人に小銭を求めて生きることを選ぶのだった…。ホームレスになって10年以上が過ぎたある日、彼の境遇を知った国際アニメーション映画祭のディレクターが、ライアンを審査員として呼び寄せた。審査員自身の作品を互いに鑑賞する上映会で最後に映し出された、ただ人が歩くだけの、わずか5分の短編に、全員が感動のあまり言葉を失った。その作品こそ、目の前にいる謎の男、ライアン・ラーキンの傑作『ウォーキング』だった。そして審査員の1人、クリス・ランドレスは、ライアンの魅力にひきこまれ、彼へのインタビューを基にCGアニメ作品『ライアン』を制作。同作が、2005年アカデミー賞短編アニメーション部門でオスカーを受賞したことで、ライアン・ラーキンの名は再び世界の注目を集めることとなった。

**35年ぶりの新作を含む全7作品を世界初の一挙上映**

クリス・ランドレス監督作品『ライアン』、ローレンス・グリーン監督作品『ライアン・ラーキンの世界』特別版  
 ライアン・ラーキン監督作品『シラクス』、『シティスケープ』、『ウォーキング』、『ストリート・ミュージック』  
 遺作『スペア・チェンジ 小銭を』(共同監督:ローリー・ゴードン)

問い合わせ先:

トランスフォーマー 加藤

電話:03-5457-7767、公式サイト:<http://www.ryan-animation.com/>

## INTO ANIMATION 5 横浜

### 海外作品特集上映

### 山村浩二セレクション NFB クラシック(40~70年代) & NFB モダン(80~00年代)

主催: 日本アニメーション協会

アニメーションクリエイターや研究者、教育者などの団体・日本アニメーション協会(JAA)がおこなう「INTO ANIMATION」。4年ぶりに、「INTO ANIMATION 5 横浜」が10月16日(金)から19日(月)まで、神奈川県横浜市の赤レンガ倉庫1号館で開催される。会員作品の上映や展示はもちろん、今回のために15秒ずつ新作を撮り下ろした特別企画「JAA meets 横浜」、子どものためのプログラムや JAA30 周年記念セレクションの上映、海外特集など、普段見る機会の少ないアニメーションも上映される。また、ワークショップやトークショーで憧れの作家と直に話ができるチャンスもあるだろう。

さらに、「頭山」でオスカー®にもノミネートされた、アニメーション作家 山村浩二がセレクションした、NFB 傑作選「NFB Classic」「NFB Modern」が海外特集として上映される。

#### NFB Classic

色彩幻想(ノーマン・マクラレン、イブリン・ランバート)  
 三角形のダンス(ルネ・ジヨドワン)、あやとり(ポール・ドリエセン)  
 ストリート(キャロライン・リーフ)、心象風景(ジャック・ドリウーアン)  
 ビーズゲーム(イシュ・パテル)、砂の城(コ・ホードマン)

#### NFB Modern

ビッグ・スニット(リチャード・コンディ)、ハット(ミシェル・クルノワイエ)  
 ある一日のはじまり(ウェンディ・テルピー、アマンダ・フォービス)、  
 cNote(クリス・ヒントン)、技(ジョルジュ・シュヴィツゲベル)、  
 待っていた男(セオドア・ウシェフ)、フォーミングゲーム(マルコム・サザーランド)



「ビーズゲーム」  
 イシュ・パテル

© National Film Board of Canada



「フォーミングゲーム」  
 マルコム・サザーランド

© National Film Board of Canada

詳しくは、イントゥアニメーション5 横浜公式サイトへ <http://www.jaa.gr.jp/into5/>

## 東京藝術大学大学院映像研究科 公開講座 馬車道エッジズ

### 「コンテンポラリーアニメーション入門」 ~ 現代短編アニメーションの見取り図 ~

主催: 東京藝術大学大学院映像研究科



東京藝術大学大学院映像研究科が、世界的に「いま」を象徴する作家の作品を鑑賞する公開講座を09年7月からおこなっている。アニメーション映像の可能性の最先端を走る短編アニメーションを題材に、本講座では、わたしたちと同時代に生きるアニメーション作家たちが、どのような意識で作品を制作しているのかを主眼に、基礎的な知識を共有し、コンテンポラリーアニメーションの見取り図を描く。

10月の第2回には、ノーマン・マクラレンの後継者といわれる作家たちの作品が登場する。

第2回: 10月3日(土)

会場: 東京藝術大学 横浜校地 馬車道校舎

演題: マクラレンの新しい後継者、クリス・ヒントンとマルコム・サザーランドの抽象(カナダ)

講師: 山村浩二(同大学院教授)

協力: アニメーションズ



「Flux」  
 クリス・ヒントン

© National Film Board of Canada

詳しくは、馬車道エッジズ「コンテンポラリーアニメーション入門」のサイトへ <http://animation.geidai.ac.jp/ca2009/>

## 北海道大学に、期間限定映画館 「CLARK THEATER 2009」 今秋 5 日間オープン！ 短編アニメーションプログラムに NFB 作品登場

主催：北大映画館プロジェクト実行委員会

大学内に映画館をつくることを目標に活動する、北大映画館プロジェクト「CLARK THEATER(クラーク・シアター)」。  
学生が主体となって企画・運営をおこない、短編映画や若手映像作家の作品、活弁士を招いた無声映画などを中心に上映し、多くの市民が多様な映像作品のおもしろさに触れる機会を提供してきた。

4 回目となる今年は、10 月 30 日(金)～11 月 3 日(火)の期間、オープニングイベントとしてアカデミー®賞を受賞した加藤久仁生監督の『つみきのいえ』、九州大学の松田美那子さんの『日まわり草』の無料上映、通常上映では短編アニメーションプログラム、ゆうばり国際映画祭 2009 グランプリ受賞作など、充実のラインナップでお送りする。

**短編アニメーションプログラム**では、10 月 30 日、31 日、11 月 2 日、

内外の 7 作品の上映：

NFB から、ゆきのねこ (シェルドン・コーエン)、フォーミングゲーム (マルコム・サザーランド)、めんどり母さん (タリ)  
フランスの Folimage から、ちいさな星の王子さま (ゾヤ・トロフィモヴァ)、渡り鳥の珍道中 (ユーリ・チェレンコフ)  
年をとった鱈 (山村浩二)、おんぼろフィルム (手塚治虫)

会場：北海道大学 クラーク会館 講堂



「ゆきのねこ」  
シェルドン・コーエン  
©SnowCat Productions,  
National Film Board of Canada

詳しくは、北大映画館プロジェクトのサイトへ <http://www.clarktheater.jp/>

お問い合わせ： [info@clarktheater.jp](mailto:info@clarktheater.jp)

## 洋画 シネフィル・イマジカのシネフィル・オリジナルに 「シネフィル・ショートショート#110」 夏休みアニメーションコレクション登場 8 月 23 日(日) 午後 11 時 45 分 / 8 月 27 日(木) 正午 チャンネル：洋画 シネフィル・イマジカ

名画を愛するシネフィルのためのチャンネル・洋画 シネフィル・イマジカでしか観られない、長編や短編を放送するシネフィル・オリジナルに、NFB の短編アニメーション 5 本が登場。

冰山を見た少年 / The Boy Who Saw the Iceberg (ポール・ドリエッセン)

死にたくない！ / Why Me? (ジャネット・パールマン、デレク・ラム)

嵐の夜 / Stormy Night (ミシェル・レミュー)

犬がほしい / I Want a Dog (シェルドン・コーエン)

ピルエット / Pirouette (タリ)



「冰山を見た少年」  
ポール・ドリエッセン  
© National Film Board of Canada

このほかに、ポール・ドリエッセンの最新作で息子カイ・ドリエッセンとの初の共同作品「7 人の兄弟」(オランダ)やアヌシー国際アニメーション・フェスティバル出品作「タマゴ遊び」(ドイツ)など、夏休みの終わりに、子どももおとなも楽しめる、バラエティーに富んだ全 10 本を、8 月 23 日(日)と 27 日(木)に放送する。

詳しくは、洋画 シネフィル・イマジカのサイトへ <http://cinofilimagica.com/cinofil03/index.html#head04>

洋画 シネフィル・イマジカ視聴方法：スカパー!(260ch)、スカパー!e2(224ch)、J:COM(241ch)ほかケーブルテレビなど

### < お問い合わせについて >

本リリース 7～9 ページで紹介した、NFB 関連の事業は、CAF 事務局がおこなうものではありません。  
お問い合わせは各社・団体へご連絡ください。